組込み系ソフトウェア・ワークショップ2016 開催報告

JEITA組込み系ソフトウェア開発に関するワークショップは昨年に引き続き、アーキテクチャ設計でも重要な「モデリング」をテーマに開催しました。今回はIoT時代で日本型の開発である擦り合わせ開発はどうあるべきなのか、その中でモデリングはどうあるべきか、どのようにモデリングを成功させるのかを議論しました。

毎年恒例の「全員参加108人ワークショップ」では、熱い議論が交わされました。司会進行役からの設問に対して全員が自分の意見を3色の色紙を挙げて表明し、近くの机に居合わせた人達がチームとなって一斉に会場全体で議論している様子は、今年も参加者の意欲と意識の高さを感じるワークショップでした。 当日は100名程の方々の参加となり、組込みソフトウェア関係者の意見交換・情報交換の場として継続していく重要性を感じつつ、今回のワークショップを成功裡に終えました。

日　時：平成28年11月11日(金)13:00 ～ 17:30
場　所：JEITA 409 ～ 411会議室
受講者数：100名

プログラム概要

①ソフトウェア事業基盤専門委員会の活動について、ワークショップ2016の狙いと課題認識

講師：ソフトウェア事業基盤専門委員会 委員長
五味 弘 氏(沖電気工業)

②ソフトウェアエンジニアリングの全体とIoT時代のモデリングおよび関連する品質

講師：鷲崎 弘宜 教授
(早稲田大学グローバルソフトウェアエンジニアリング研究所 所長)

③開発現場でのモデリング事例

講師：河内 美紀 氏(リコー)

④ETロボコンにおけるモデリングの取り組み

講師：土樋 祐希 氏(富士ゼロックス)

⑤組込みシステムのアーキテクトとモデリング

講師：四反田 秀樹 氏(パナソニック)

⑥全員参加型108人ワークショップ：徹底議論！IoT時代のモデリング、その成功への道

少人数でのグループディスカッション

色紙で意思表示する参加者